



friendship force
TOKYO

ニュースレター第136号

フレンドシップフォース東京

2023年11月

久しぶりの FFI 世界大会

会長 堤 由紀枝

2023年世界大会は10月2日から4日間クロアチアのドゥブロブニクで参加国26か国、参加者287名 日本から東京クラブ9名を含む18名(配布された資料に依る)で開催された。

私にとっても会員の皆様にとっても久しぶりの世界大会。世界大会は皆さんとの出逢いや懐かしい方に会える場所。今回の私は会員の一員として参加するだけではなく責務がある世界大会だった。

歴代の会長達がやってこられた様に、これまでの交流で親しくなったクラブの方達と親交を暖めると共に、これから交流可能なクラブの方達との新しいきっかけを作る役目があるので絶えず意識しながらの世界大会であった。

来年渡航予定のオレゴン州ミッドウェストヴァレーライクラブとウェスタンコロラドクラブやベルギーのルーヴェンクラブの方達も参加していたので渡航前に対面出来、ご挨拶出来たのは世界大会ならではの出会いの舞台だから経験出来たのである。

一番多く参加したのは例年の如く米国。全体の2/3弱だった。

大会開催会場のシェラトンホテルは街中から少し離れた場所にあり、皆は抜け出すこともなく真面

目にスケジュールにあるワークショップを次から次へと選んで参加していた。私の参加したワークショップの中には、その仕組みに良く理解できないものも有ったが、英語の意味している事が正確に理解出来ていないからなのかもしれない。金元氏も理解しづらかった、と言っていたので内容の把握が難しかった。4日間はあつという間に過ぎ、最後のハイライト、ガラパーティーでは旧知の人達とは勿論、世界大会で知り合った新しい仲間達と尽きない会話と写真撮影で締めくくった。

FFに参加している人達とは文化交流、という目指している事が同じなので通じる仲間だと強く感じた世界大会であった。



NYに住む二十年ほど前のアンバからメールが来た。孫息子が東京に行くから会えないか。生憎オーストラリアの受入と重なってしまった。▼彼は二十代、息子は三十代。息子に「会えないか?」と聞いたから何とかするという。その後NYの友達から、孫は予定を多少変更できるかもしれないといふ連絡があり。▼マンチエスターの世界大会の折、以前アンバだったご夫婦をDarlingtonに訪ねた。九十歳とは知らず「歳をごまかしていたでしょ」と言つた。「自分たちはもう歳で日本には行けない。でも子供たちは行つていいか?」と私。考えてみると、当時はマツチングリストに年齢の記載がなかった。▼彼らは言つた。「私たちには、昨今の高齢化を嘆く。今日本には行けない。でも子供や孫にこの会の継続を望むのも悪くない。新入会員勧誘に取り組むと同時に、私たちの子供や孫たちがかかる研修等で子供や孫たちがかかる。彼らにはF.F.の「かけはし」となつてもいいたい。(S.S.)

かけはし

The 2023 FF World Conference in Dubrovnik, Croatia----Oct. 2-5



旧市街のレストランでランチ



★作田多香子★

入会して初めての世界大会参加、おまけに生まれて初めての欧洲。クロアチアは初秋が一番と聞いていたが、まるで真夏。大会前日にドイツからドゥブロブニク入り翌日シェラトンへゴロゴロとスーツケースを転がしながら歩いて行った。聞きしに勝る素晴らしい景色。来てよかったです！

10/2 資料受取。FF オースティンの方に早速声をかけられた。夜パーティーで FF 高雄の事務局と親しくなる

10/3 ジェレミ会長と関係者の挨拶、クロアチアの紹介他。夜に運良く舞い込んだクルーズで船酔し、ラツキーがアンラツキーに(涙)

10/4 1日ワークショップ。夜に金元さんの計らいでアジアと USA の参加者を集めて夕食を共にし交流を深めた。

10/5 旧市街に仲間と観光。1時間程歩いて城壁を一周。夕方のガラパーティーで着物を着た。遅れて行ったのに注目されステージそっちのけで着物レディーに群がった。写真を撮ってのアプローチの嵐。着物ってモテるんだ～「終わり良ければ全て良し」



ドゥブロブニク旧市街でハートマークを作つてみました

★渡辺いづみ★

今となっては、お恥ずかしい限りですが今年の 2 月に会員になり、物見遊山のような暢気な気分で出掛けたものの。(不謹慎ですね)

世界中の方達と集えた喜びは、とても大きいものでした。

ガラパーティーは、お仲間と 4 人で着物で出席し大変喜んでいただき「着物の威力は抜群！」でした。カンファレンスの内容もほとんど分からずに不甲斐ない思いもしましたが、インド人の男性に、「言葉は道具。話す内容、心が大事なんだよ。」と言われ、その言葉を胸に刻みました。

とても貴重な経験をさせていただきました。

元気横溢な先輩方をお手本に、今後も活動に参加させていただけたらと思います。最後に、着付けして下さった神吉さん、感謝です！

FF ノースモートン、FF ブルーマウンテンズ(オーストラリア)受入

2023年2回目の受入！アンバサダー12名 10/24（火）～30（月）

Host--加藤光子、佐藤寿美子、田中裕海/浩代、堤由紀枝、平野悦子、水上恵子、余村昌生/とこ
HC 高橋亜紀、AHC 原光江

★“THE SAKURA DINNING TOKYO”

新宿での Welcome Party(10/25)

★鈴木宅での茶道体験、鎌倉散策（10/26）

★かっぱ寺での座禅体験、浅草散策（10/27）

★明治神宮参詣（10/28）



にこやかに一期一会

鈴木 瞳子

秋晴れの下、12名のアンバサダーをお迎えしました。蹲で柄杓を使って手を清めていただき、70cmほどどの狭い躊躇口は足が長い方やお腹周りの大きな方は心配でしたが、皆にこやかに膝と手をつき、頭を下げて茶室に入ってくださいました。FFI 理念に沿って用意した「橋だて」の銘の蓋置に、「bridge」と声を上げて喜んでくださいました。体感や香り、音など五感で茶道を楽しんでいただいた「一期一会」でした。



12人とのグッダイ good day

田中 浩代

豪ブルーマウンテンズ

とノースモートンから迎えたアンバ 12 名は、皆様明るく朗らかで素敵な方々だった。お天気にも恵まれ、初 HC、初 Day Host など新メンバー達が、ベテラン会員と共に会員宅でのお茶会や座禅、ハロウィンなど新しいプログラムを楽しんだ。我が家のフェイとジョンは仲が良く気遣いのある素敵な方々で、ディナーホストの協力もありグルテンフリーもよい経験となった。ただ、交換の後半は体調不調者が出て、予定通りにはいかなかったが、他のメンバー達がカバーし東京クラブの底ヂカラを感じた。新しい友情はそこにある！来年以降も楽しい出会いが待っていることを予感させる良い交換であった。



2024年渡航・受入

ルーヴェン（ベルギー）（受入・渡航）

ベルギールーヴェンクラブは、会長をはじめ、多くの会員が芸術関連のお仕事をされています。2年に一度開かれる花の絨毯祭は写真で見てもワクワクするほど美しく、実際にご覧になってくだされば想像を絶する未知数の体験が出来るでしょう。



ミッドウェイラメットヴァレイ&ウェスタンコロラド（USA）（渡航）

コロラドには国定公園が町に隣接し、豊かな自然に恵まれアウトドアライフが充実しています。

オレゴンウェイラメットヴァレイはオレゴン州の主要な農業地域です。数多くのワイナリー、興味深い美術館、オレゴンガーデンでも知られています。



※他クラブの2024年の渡航・受入の予定はFF日本のホームページをご覧ください。



～～新会員の自己紹介～～

馬場 珠芽



生き生きと活動されている皆さんが目標です！これからのご縁にワクワクしております。不慣れですがよろしくお願いいたします。

- ◆ 2024年1月21日に総会・懇親会を女子栄養大学で開催します。奮ってご参加ください。申込み案内は別途お知らせします。
- ◆ 2024年10月19日の日本大会会場はTKPガーデンシティ PREMIUM 品川 HEARTに決定いたしました。

2024年 Calendar

1月 21日	総会・懇親会	
3月 22日 ～28日	ルーヴェン（ベルギー）	受入
5月 31日 ～6月 13日	ミッドウェイラメットヴァレイ&ウェスタンコロラド(USA)	渡航
8月中旬	ルーヴェン（ベルギー）	渡航
10月 19日	日本大会（FF東京主催）	

英語は苦手ですが、海外に色々な世代のお友達を作りたく、入会致しました。既に入ってよかったと思える経験をさせて頂き感謝しています。よろしくお願ひいたします。

中山 美久



【編集後記】

人と人をつなぐもの、それは心。FFの心を私に教えてくださった人。それはFFの大先輩、菅谷さんご夫妻。ずっと見守ってくださいね。